ひと、まち、笑顔に。

Joshin

2026年度(2027年3月期)
第2四半期決算説明資料

2026年11月6日

株式会社Joshin

証券コード:8173

不正アクセスによるシステム障害および情報漏洩の可能性に関するお詫び

多大なるご迷惑とご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

現在の状況について

- 外部専門機関との連携による、不正アクセスの全容解明と影響範囲の継続調査

今後の対応と決意

- 「お客さま情報の保護」を第一とした、迅速な個別対応と相談窓口の設置
- 全社的なセキュリティ強化による再発防止と信頼回復への全力の取り組み

ひと、まち、笑顔に。
Joshin

[目次]

- 2026年度(2027年3月期)第2四半期決算
- 2026年度(2027年3月期)通期予想
- 「JT-2028 経営計画」進捗状況



ひと、まち、笑顔に。
Joshin

2026年度(2027年3月期)第2四半期決算の概要 -1

連結損益計算書(4-9月)

「売上高」と「中間純利益」において上期として過去最高を記録

(百万円)	2026年度上期(4-9月)						2025年度上期(4-9月)	
	8/4予想	売上比	実績	売上比	増減率	対8/4予想増減率	実績	売上比
売上高	218,000	100.0%	227,461	100.0%	+8.1%	+4.3%	210,452	100.0%
うち店頭販売	177,000	81.2%	188,764	83.0%	+9.4%	+6.6%	172,618	82.0%
うちインターネット販売	37,000	17.0%	37,200	16.4%	+2.6%	+0.5%	36,269	17.2%
売上総利益	56,400	25.9%	59,858	26.3%	+14.0%	+6.1%	52,515	25.0%
販売費及び一般管理費	51,900	23.8%	53,289	23.4%	+5.8%	+2.7%	50,376	23.9%
うち人件費	-	-	22,813	10.0%	+9.5%	-	20,836	9.9%
うち家賃・地代	-	-	7,188	3.2%	+3.7%	-	6,930	3.3%
うち物流費	-	-	6,458	2.8%	+3.2%	-	6,255	3.0%
うち広告宣伝費	-	-	3,948	1.7%	+0.4%	-	3,933	1.9%
営業利益	4,500	2.1%	6,569	2.9%	+207.2%	+46.0%	2,138	1.0%
経常利益	4,300	2.0%	6,334	2.8%	+216.0%	+47.3%	2,004	1.0%
中間純利益(※1)	2,800	1.3%	4,357	1.9%	+130.0%	+55.6%	1,894	0.9%

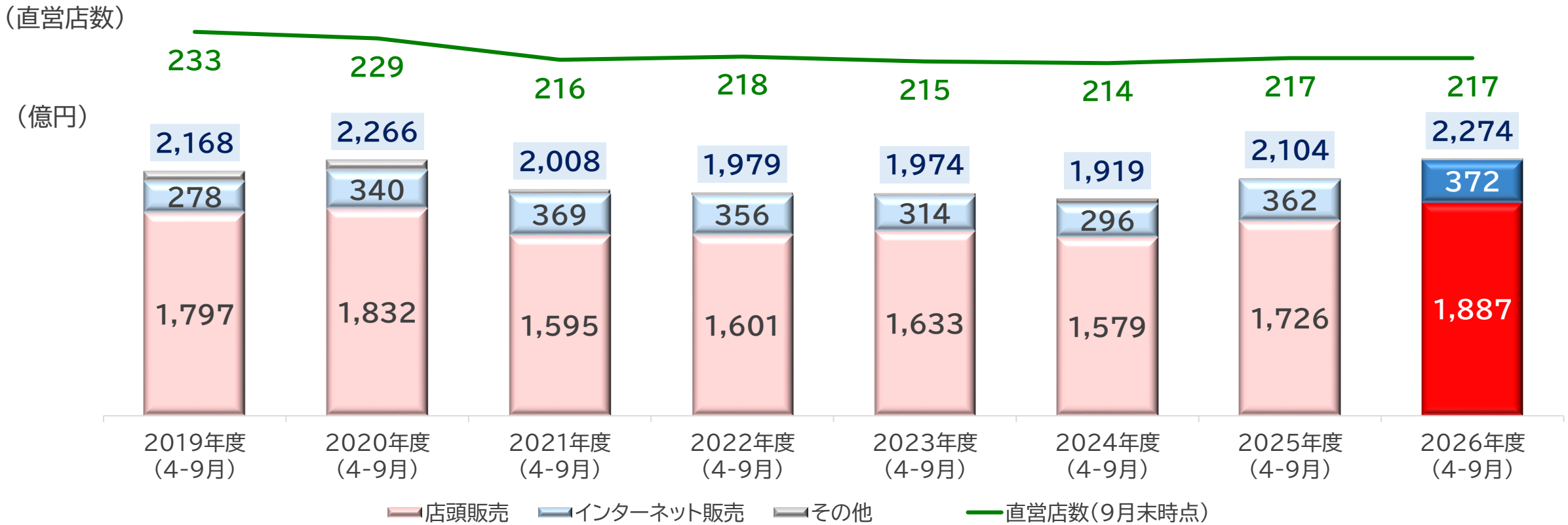
※1 親会社株主に帰属する中間純利益

ひと、まち、笑顔に。
Joshin

2026年度(2027年3月期)第2四半期決算の概要 -2

上期の連結売上高は過去最高を記録、店頭販売およびインターネット販売いずれも、2018年度以降で最高の売上高を確保

店頭販売とインターネット販売の推移

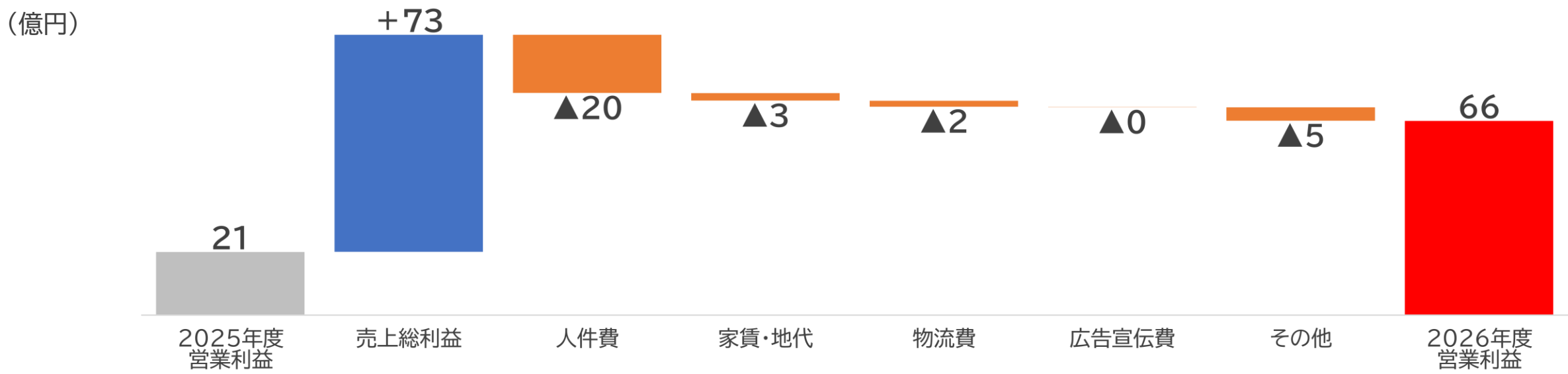


(億円)	2019年度 (4-9月)	2020年度 (4-9月)	2021年度 (4-9月)	2022年度 (4-9月)	2023年度 (4-9月)	2024年度 (4-9月)	2025年度 (4-9月)	2026年度 (4-9月)
1店舗あたり売上高(※1)	7.71	8.00	7.38	7.34	7.59	7.37	7.95	8.70

※1 店頭販売÷直営店数

2026年度(2027年3月期)第2四半期決算の概要 -3

営業利益増減要因(4-9月):前年差



2025年度

(億円)	2024年度 営業利益	売上総利益	人件費	家賃・地代	物流費	広告宣伝費	その他	2025年度 営業利益
4-9月	18	+17	▲3	▲2	▲4	▲2	▲3	21

営業利益増減要因(四半期別):前年差

(億円)	2025年度 営業利益	売上総利益	人件費	家賃・地代	物流費	広告宣伝費	その他	2026年度 営業利益
4-6月	6	+ 36	▲ 4	▲ 1	▲ 1	▲ 2	▲ 1	32
7-9月	16	+ 38	▲ 16	▲ 2	▲ 1	+ 2	▲ 3	34

2026年度(2027年3月期)第2四半期決算の概要 -4

連結損益計算書(四半期)

(百万円)	2026年度1Q (4-6月)			2025年度1Q (4-6月)		2026年度2Q (7-9月)						2025年度2Q (7-9月)	
	実績	売上比	増減率	実績	売上比	8/4予想	売上比	実績	売上比	増減率	対8/4予想増減率	実績	売上比
売上高	112,704	100.0%	+13.0%	99,738	100.0%	105,295	100.0%	114,756	100.0%	+3.7%	+9.0%	110,714	100.0%
うち店頭販売	92,897	82.4%	+15.7%	80,271	80.5%	84,102	79.9%	95,867	83.5%	+3.8%	+14.0%	92,346	83.4%
うちインターネット販売	18,872	16.8%	+4.8%	18,014	18.1%	18,127	17.2%	18,327	16.0%	+0.4%	+1.1%	18,255	16.5%
売上総利益	29,154	25.9%	+14.0%	25,575	25.6%	27,245	25.9%	30,704	26.8%	+14.0%	+12.7%	26,940	24.3%
販売費及び一般管理費	25,990	23.1%	+3.9%	25,010	25.1%	25,909	24.6%	27,298	23.8%	+7.6%	+5.4%	25,366	22.9%
うち人件費	10,865	9.6%	+4.0%	10,446	10.5%	–	–	11,948	10.4%	+15.0%	–	10,390	9.4%
うち家賃・地代	3,565	3.2%	+2.8%	3,468	3.5%	–	–	3,623	3.2%	+4.7%	–	3,462	3.1%
うち物流費	3,216	2.9%	+4.2%	3,086	3.1%	–	–	3,242	2.8%	+2.3%	–	3,169	2.9%
うち広告宣伝費	2,053	1.8%	+10.6%	1,856	1.9%	–	–	1,895	1.7%	△8.8%	–	2,077	1.9%
営業利益	3,164	2.8%	+460.1%	564	0.6%	1,335	1.3%	3,405	3.0%	+116.4%	+154.9%	1,573	1.4%
経常利益	3,089	2.7%	+541.8%	481	0.5%	1,210	1.1%	3,245	2.8%	+113.0%	+168.0%	1,523	1.4%
四半期純利(※1)	2,356	2.1%	+367.5%	503	0.5%	443	0.4%	2,001	1.7%	+43.9%	+350.9%	1,390	1.3%

※1 親会社株主に帰属する四半期純利益

2026年度(2027年3月期)第2四半期決算の概要 -5

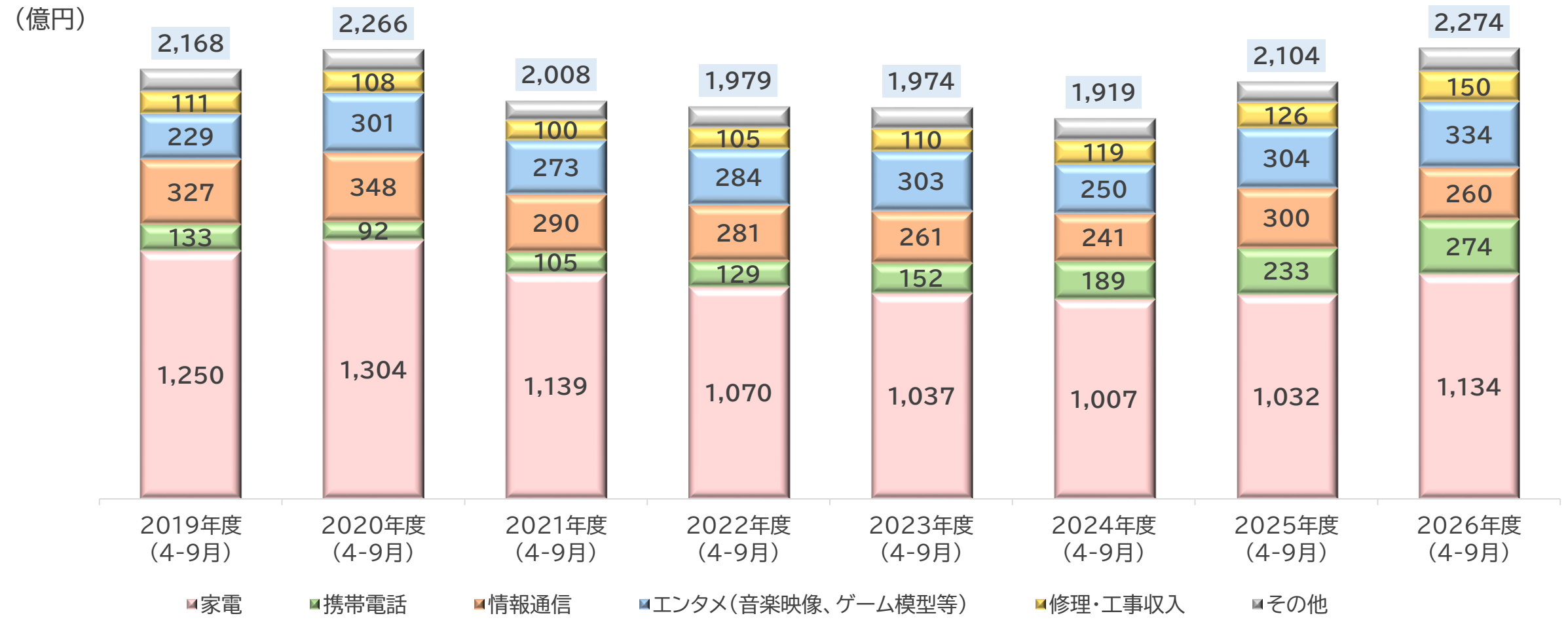
品種別売上高(4-9月)

(百万円)	2026年度1Q (4-6月)			2025年度1Q (4-6月)		2026年度2Q (7-9月)			2025年度2Q (7-9月)		2026年度上期 (4-9月)			2025年度上期 (4-9月)	
	実績	売上比	増減率	実績	売上比	実績	売上比	増減率	実績	売上比	実績	売上比	増減率	実績	売上比
テレビ	5,613	5.0%	+7.0%	5,245	5.2%	6,459	5.6%	△4.4%	6,756	6.1%	12,073	5.3%	+0.6%	12,001	5.7%
冷蔵庫	6,045	5.4%	+6.3%	5,687	5.7%	6,903	6.0%	△5.0%	7,270	6.6%	12,948	5.7%	△0.1%	12,957	6.2%
洗濯機・クリーナー	8,433	7.5%	+5.6%	7,985	8.0%	9,377	8.2%	△2.6%	9,629	8.7%	17,810	7.8%	+1.1%	17,614	8.4%
電子レンジ・調理器具	4,032	3.6%	+9.5%	3,682	3.7%	4,038	3.5%	△2.8%	4,156	3.8%	8,071	3.5%	+3.0%	7,838	3.7%
エアコン	21,212	18.8%	+39.3%	15,226	15.3%	19,540	17.0%	+18.8%	16,442	14.9%	40,752	17.9%	+28.7%	31,668	15.0%
パソコン	4,078	3.6%	△13.6%	4,719	4.8%	3,310	2.9%	△49.3%	6,534	5.9%	7,388	3.2%	△34.3%	11,253	5.4%
携帯電話	12,938	11.5%	+12.6%	11,487	11.5%	14,480	12.6%	+22.3%	11,838	10.7%	27,419	12.1%	+17.6%	23,325	11.1%
ゲーム・模型・玩具・楽器	16,104	14.3%	+18.7%	13,565	13.6%	14,995	13.1%	+3.5%	14,493	13.1%	31,099	13.7%	+10.8%	28,058	13.3%

2026年度(2027年3月期)第2四半期決算の概要 -6

エアコンを中心とする家電、モバイル通信、カードゲームを中心とするエンターテインメントの売上高が拡大傾向で推移

品種別連結売上高の推移



2026年度(2027年3月期)第2四半期決算の概要 -7

貸借対照表

(百万円)	2026年9月末	2026年3月末	増減
流動資産	127,419	121,201	+ 6,218
有形固定資産	70,800	70,701	+ 98
無形固定資産	4,710	4,987	△ 277
投資その他の資産	32,354	31,922	+ 432
固定資産	107,865	107,611	+ 253
資産合計	235,285	228,813	+ 6,472
(ご参考)			
有利子負債合計	34,528	37,930	△ 3,401

(百万円)	2026年9月末	2026年3月末	増減
流動負債	83,425	78,140	+ 5,284
固定負債	42,944	45,307	△ 2,362
負債合計	126,369	123,448	+ 2,921
純資産合計	108,915	105,364	+ 3,550
負債純資産合計	235,285	228,813	+ 6,472
ネット有利子負債合計	21,564	33,400	△ 11,836

※ ネット有利子負債合計:有利子負債－現金及び預金

キャッシュ・フロー

(百万円)	2026年9月末	2025年9月末	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー (a)	15,353	9,475	+ 5,878
投資活動によるキャッシュ・フロー (b)	△ 1,850	△1,771	△ 78
(フリーキャッシュ・フロー (a) + (b))	13,502	7,703	+ 5,799
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,068	△10,930	+ 5,862
現金及び現金同等物の中間期末残高	12,964	4,481	+ 8,483

ひと、まち、笑顔に。
Joshin

2026年度(2027年3月期)通期予想 ※直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結損益計算書(通期予想)

通期において過去最高の「売上高」達成を目指す

(百万円)	2026年度通期(4-3月)						2025年度通期(4-3月)	
	期初予想	売上比	今回予想	売上比	増減率	対前回予想増減率	実績	売上比
売上高	438,000	100.0%	455,000	100.0%	+4.2%	+3.9%	436,650	100.0%
うち店頭販売	352,000	80.4%	369,000	81.1%	+4.0%	+4.8%	354,911	81.3%
うちインターネット販売	81,000	18.5%	81,000	17.8%	+2.5%	+0.0%	79,004	18.1%
売上総利益	114,500	26.1%	118,300	26.0%	+9.8%	+3.3%	107,787	24.7%
販売費及び一般管理費	108,500	24.8%	107,300	23.6%	+4.8%	△1.1%	102,365	23.4%
営業利益	6,000	1.4%	11,000	2.4%	+102.9%	+83.3%	5,422	1.2%
経常利益	5,500	1.3%	10,500	2.3%	+105.3%	+90.9%	5,113	1.2%
当期純利益(※1)	3,500	0.8%	5,000	1.1%	+52.4%	+42.9%	3,280	0.8%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

ひと、まち、笑顔に。
Joshin

2026年度(2027年3月期)下期予想 ※直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結損益計算書(下期(10-3月)予想)

(百万円)	2026年度上期(4-9月)			2025年度上期(4-9月)		2026年度下期(10-3月)						2025年度下期(10-3月)	
	実績	売上比	増減率	実績	売上比	期初予想	売上比	今回予想	売上比	対前年増減率	対期初予想増減率	実績	売上比
売上高	227,461	100.0%	+8.1%	210,452	100.0%	227,000	100.0%	227,538	100.0%	+0.6%	+0.2%	226,197	100.0%
うち店頭販売	188,764	83.0%	+9.4%	172,618	82.0%	182,000	80.2%	180,235	79.2%	△1.1%	△1.0%	182,293	80.6%
うちインターネット販売	37,200	16.4%	+2.6%	36,269	17.2%	44,000	19.4%	43,799	19.2%	+2.5%	△0.5%	42,734	18.9%
売上総利益	59,858	26.3%	+14.0%	52,515	25.0%	58,600	25.8%	58,441	25.7%	+5.7%	△0.3%	55,272	24.4%
販売費及び一般管理費	53,289	23.4%	+5.8%	50,376	23.9%	55,100	24.3%	54,010	23.7%	+3.9%	△2.0%	51,988	23.0%
営業利益	6,569	2.9%	+207.2%	2,138	1.0%	3,500	1.5%	4,430	1.9%	+34.9%	+26.6%	3,283	1.5%
経常利益	6,334	2.8%	+216.0%	2,004	1.0%	3,200	1.4%	4,165	1.8%	+34.0%	+30.2%	3,109	1.4%
当期純利益(※1)	4,357	1.9%	+130.0%	1,894	0.9%	1,600	0.7%	642	0.3%	△53.6%	△59.9%	1,385	0.6%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

ひと、まち、笑顔に。
Joshin

店舗数の推移

「Joshin Reborn Action 2026」に掲げる不採算店舗の整理を着実に進めつつ、2店舗を新規出店

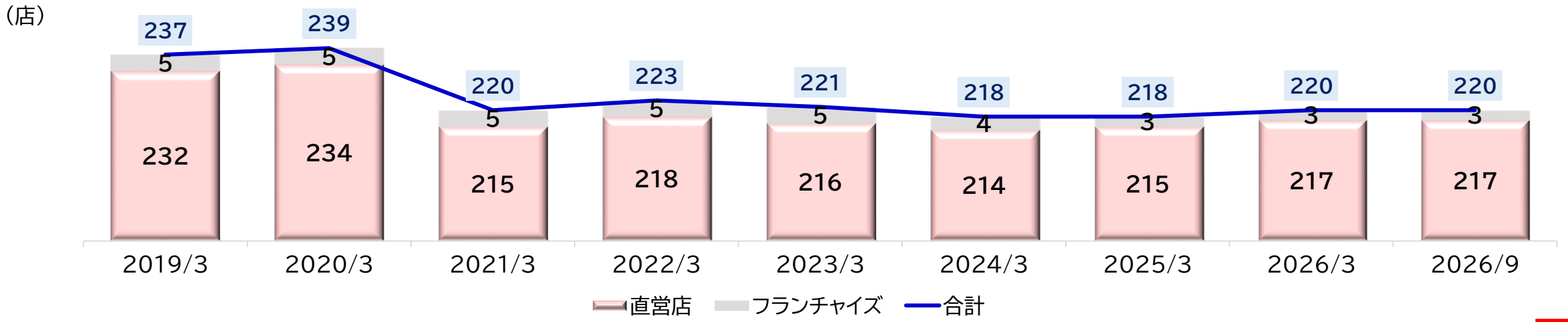
2026年9月末時点　エリア別店舗内訳

地区	合計店舗数	Joshin		BOOK・OFF	TSUTAYA
		直営店	FC店		
関西	140店	133店		6店	1店
東海	36店	35店	1店		
北信越	24店	24店			
関東	18店	18店			
四国	2店		2店		
合計	220店	210店	3店	6店	1店

2026年度　出店・閉店の推移

新規出店		都道府県	業態	店名
2026年	6月	大阪府	Joshin	堺鉄砲町イオンモール店
2026年	6月	岐阜県	Joshin	モレラ岐阜店

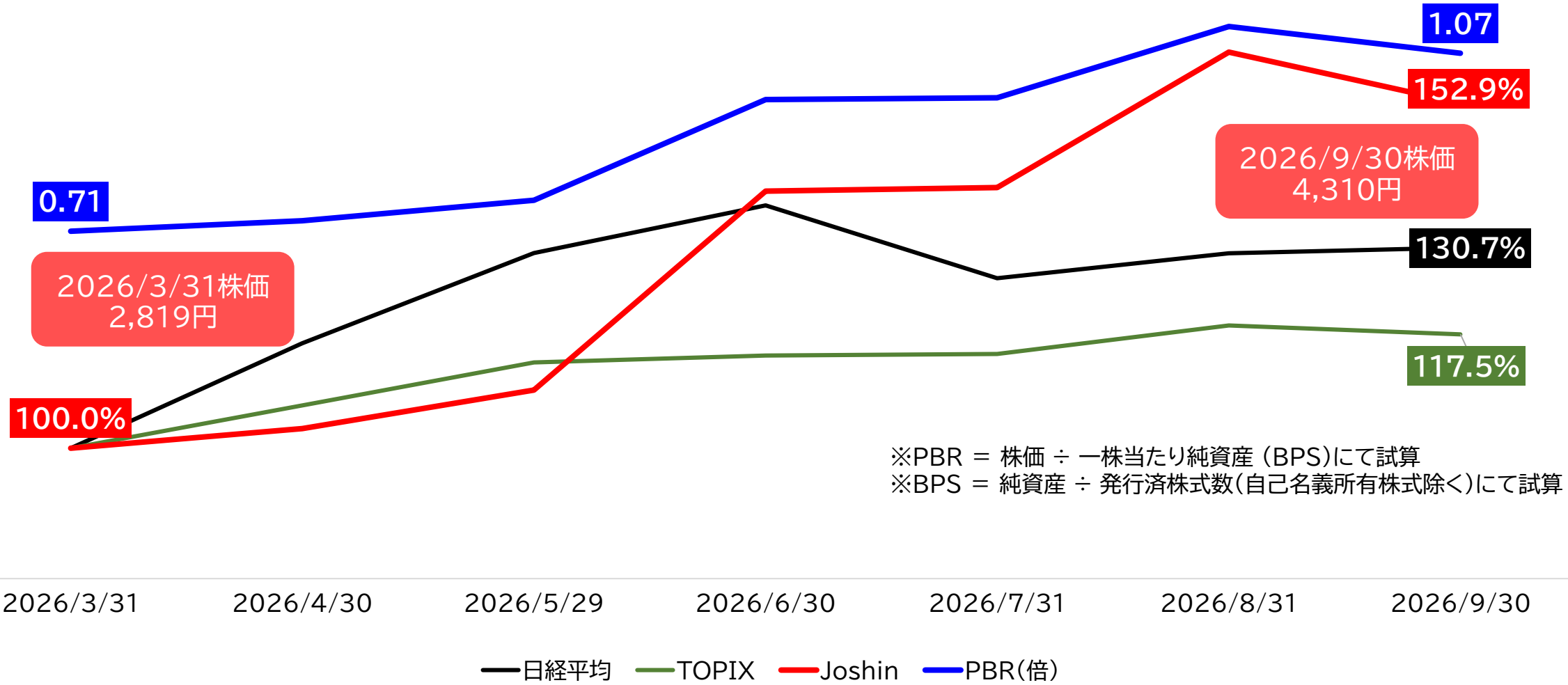
閉店		都道府県	業態	店名
2026年	9月	大阪府	Joshin	市岡店
2026年	9月	新潟県	Joshin	柏崎店



ひと、まち、笑顔に。
Joshin

当社株価とPBRの推移 ※2026年9月30日時点

6月以降、株価はTOPIXを大きく上回る伸長を続け期初比153%に到達、PBRも8月以降、1.0倍以上を維持

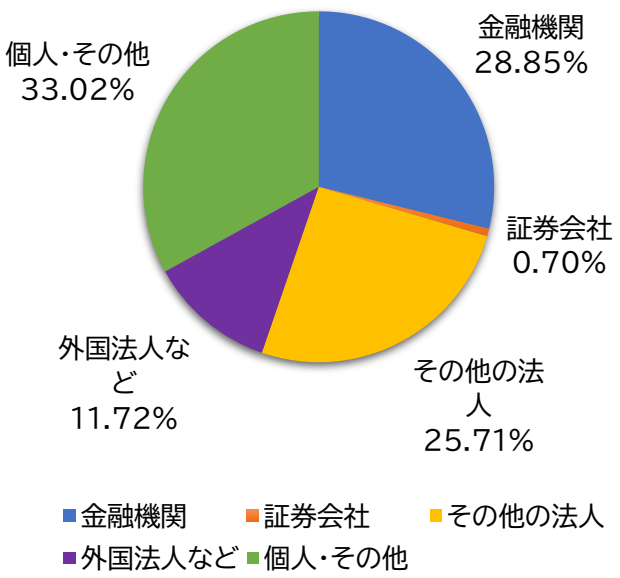


※PBR ＝ 株価 ÷ 一株当たり純資産（BPS）にて試算
※BPS ＝ 純資産 ÷ 発行済株式数（自己名義所有株式除く）にて試算

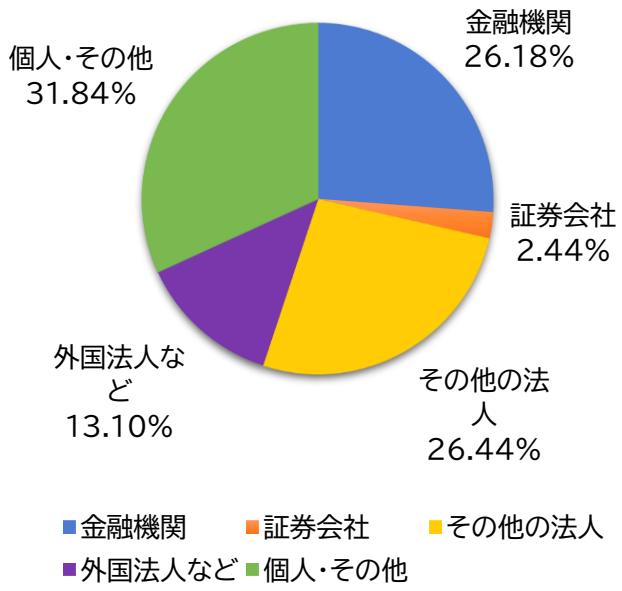
株主構成の推移 ※2026年9月30日現在

この一年間で外国法人の株主構成は上昇傾向で推移、9月末時点で15%台に到達

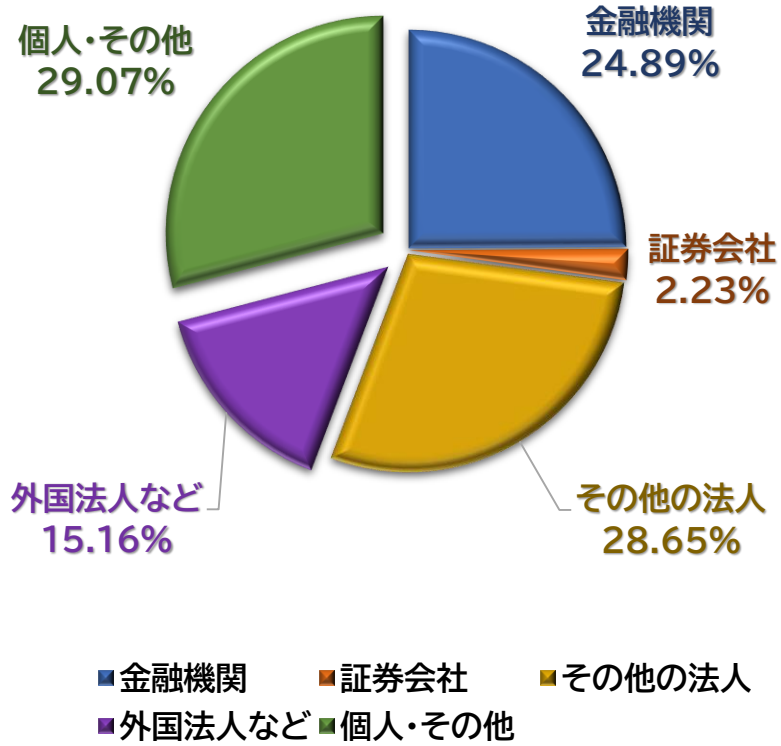
2025年9月30日現在



2026年3月31日現在



2026年9月30日現在



(注)持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

ひと、まち、笑顔に。
Joshin

［目次］

- 2026年度(2027年3月期)第2四半期決算
- 2026年度(2027年3月期)通期予想
- 「JT-2028 経営計画」進捗状況



ひと、まち、笑顔に。
Joshin

中長期の成長シナリオにおける「JT-2028　経営計画」の位置づけ

「家電量販店版マチの電器屋」の具現化に向けて、「Joshin Reborn Action 2026」の着実な取り組みを推進

1948年
創業

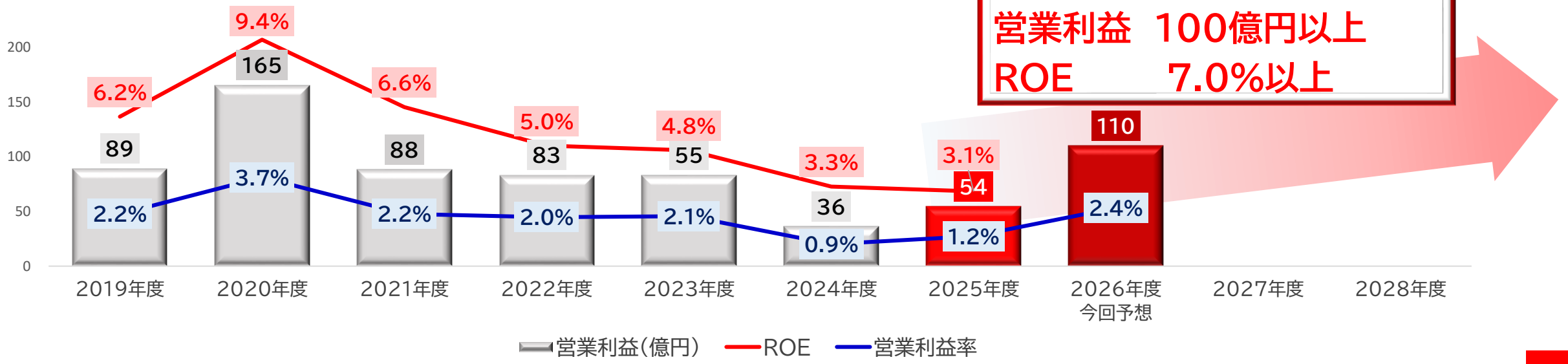
JT-2023
経営計画
計画未達

JT-2025
経営計画
売上高達成
営業利益未達

JT-2028 経営計画
新生Joshinグループとして
持続的成長と企業価値向上を
可能とする事業基盤の再構築
【収益力強化への再挑戦】

2048年
創業
100周年

2028年度計画の早期実現
営業利益　100億円以上
ROE　　7.0%以上



ひと、まち、笑顔に。
Joshin

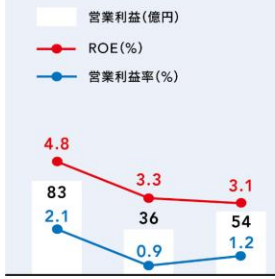
「JT-2028 経営計画」～創業100周年を見据えたロードマップ

100年企業 さらにその先を見据えた持続可能な経営体制への移行を目指す ▶ **事業基盤の再構築**

JT-2025 経営計画

お客さまの暮らしに寄り添う「コンシェルジュ」へ

お客さま一人ひとりのライフスタイルに寄り添い、商品・サービスを通じた「課題」を解決することで、お客さまの期待を上回る「価値創造」を実現し、顧客生涯価値を創出し収益を確保する持続可能なビジネスモデル



JT-2028 経営計画

ライフスタイル・サポートカンパニーへの進化

新生Joshinグループとして持続的成長と企業価値向上を可能とする事業基盤の再構築

[収益力強化への再挑戦]

Joshin Reborn Action 2026

経営資源の再設計
- リアル店舗の数に依存しない持続可能な事業体制への転換
  【不採算店舗の撤収・スクラップアンドビルド】
- 人的資本への再投資による生産性の最大化
  【リフォームをはじめ成長領域への最適配置】
- 「マチの電器屋」の具現化に向けた事業ポートフォリオの最適化
  【顧客ニーズに寄り添うサービスメニュー拡充】



PB商品への本格参入
- お客さまの暮らしに寄り添う、最適なコストパフォーマンスと性能にこだわった独自商品の開発&販売の実現



OMO戦略の確立
- 強みである自社ECサイトとリアル店舗を相互利用する会員獲得によるEC事業拡大
- サービス提供エリアの拡張、メニューの充実化、エリア外配送・設置・工事・リサイクルの拡充



アウトレット戦略の強化
- 業績不振店舗の一部アウトレット業態への転化による地域競争力の強化(既存店+アウトレット店)
- 東西2拠点物流体制を最大限活用した最適在庫水準の実現と在庫回転率の引き上げ



変革フェーズ(2026～2027)
中長期的に勝ち続けるために足場を固める

飛躍フェーズ(2028～)
創業100周年を見据えて次のステージへジャンプする

7.0
100

2028年度計画

営業利益	100億円以上
ROE	7.0%以上

2030年 2048年

創業100周年

2030年にあるべき姿

地域社会の成長を支え、人と環境の未来に貢献する企業

2023 2024 2025 2026 2027 2028(計画) 2030 2048 (年度)

ひと、まち、笑顔に。
Joshin

Joshin Reborn Action 2026 における「重点戦略」の進捗

リアル店舗事業の収益力強化

2026年度上期実績

不採算店舗対象15店舗中2店舗撤収
・市岡店（大阪府：関西エリア）
・柏崎店（新潟県：北信越エリア）

2026年度下期以降

不採算店舗対象13店舗中数店舗撤収予定
・撤収時期が決定した店舗から随時公表予定

人的資本の再投資に向けた取り組み
・収益好調店舗への増員配置
・専門研修を経て、リフォーム事業、モバイル通信事業への配置を順次実施

「家電量販店版マチの電器屋」の具現化に向けた取り組み
・大阪北摂・兵庫東エリアの一部で展開している「駆けつけサービス」の対象店舗拡大
・大阪北摂・奈良エリアの一部でライブアシスト（双方向通信）を用いた遠隔でのお困りごと解決
・課題解決型サービス（ソリューションビジネス）のメニュー開拓推進

アウトレット戦略の強化
・多様化するお客さまのニーズにお応えするための選択肢を提供
・東西2拠点物流体制を活用した効率的な在庫マネジメントの推進

	2025年度	2026年度
アウトレット店舗数	6	7
増減（前年比）	+3	+1
出店店舗名 ※アウトレット表記省略	九条烏丸店 奈良三条大路店 姫路東店	瑞穂店





JT-2028 経営計画（～2028年度）

2027年度中に対象となっている不採算店舗全店の撤収に目途をつける予定

人的資本への再投資による生産性の最大化
【リフォームをはじめ成長領域への最適配置】

「マチの電器屋」の具現化に向けた事業ポートフォリオの最適化
【顧客ニーズに寄り添うサービスメニュー拡充】

現在の7店舗から店舗数を拡大予定

「家電量販店版マチの電器屋」のチェーン展開による ライフスタイル・サポートカンパニーへの進化

ひと、まち、笑顔に。
Joshin

Joshin Reborn Action 2026 における「重点戦略」の進捗

PB商品への本格参入

2026年度上期実績

6月より本格的な市場投入を開始
・ハンディクリーナー ・オーブントースター
・IH炊飯器 ・マイコン炊飯器 ・電気ケトル
・アルカリ乾電池 ・LED電球
・スマホスタンド ・スチーム加湿器　など

- **連結売上高構成比：約3.7%**
- **SKU約110アイテムを新規に投入**
  うち商品開発室において50アイテム開発

2026年度下期以降

中小物家電を中心に商品アイテムを拡張予定
・単機能レンジ ・オーブンレンジ
・LEDシーリングライト ・シュレッダー
・ホットプレート ・一口IH調理器
・ワイヤレスイヤホン ・体組成計　など

2026年度計画
- **連結売上高構成比：4.6%**
- **PB商品開発目標：SKU150アイテム**







JT-2028 経営計画（～2028年度）

中小物家電から対象を拡大し、将来的にはエアコンをはじめとする家電全般においてPB商品を投入

2028年度計画
- **連結売上高構成比：10%**
- **PB商品粗利率：2024年度比＋5%改善**
- **PB商品開発目標：SKU500アイテム以上**

- 専任部門を新規に立ち上げ
- 外部から専門人財をキャリア採用
- 自社にて商品開発・品質管理体制を整備
- OEMパートナーとの協業を推進

PB商品の事業拡大による家電事業全体の販売拡大

ひと、まち、笑顔に。
Joshin

Joshin Reborn Action 2026 における「重点戦略」の進捗

ECとOMO戦略の確立

2026年度上期実績

- 自社サイト販売比率
  2025年度：44% → 9月末：47%
- 家電製品販売額増減率
  前期比：7%増

- 相互利用稼働会員数増減率
  前期比：20%増
- 自社サイト稼働会員数増減率
  前期比：13%増

2026年度下期以降

2026年度計画
- 自社サイト販売比率
  2025年度：44% → 46%
- 家電製品販売額増減率
  前期比：2%増

2026年度計画
- 相互利用稼働会員数増減率
  前期比：15%増
- 自社サイト稼働会員数増減率
  前期比：7%増

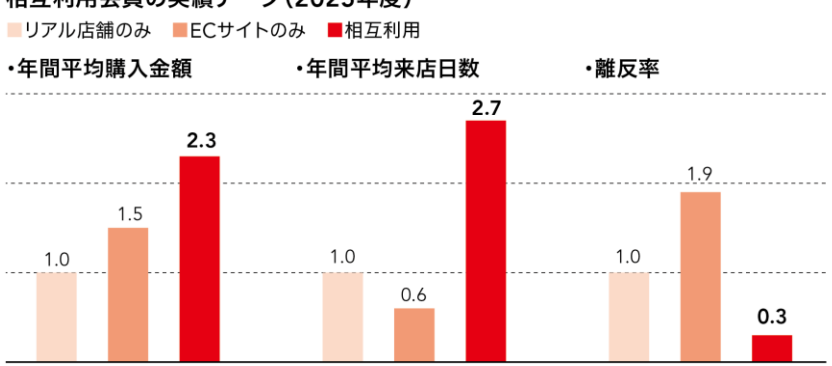
中長期戦略の柱

出店サイト
新規顧客の獲得

自社サイトにおける販売比率
50%の実現
※2025年度実績：44%

自社サイト
ロイヤル顧客の育成

相互利用会員の実績データ（2025年度）



※リアル店舗のみを「1」としたときの倍率をグラフ化したもの

JT-2028 経営計画（～2028年度）

- 自社サイトにおける販売比率5割の実現
- 家電製品の販売比率引き上げ

- 強みである自社ECサイトとリアル店舗を相互利用する会員獲得によるEC事業拡大

- サービス提供エリアの拡張、メニューの充実化、エリア外配送・設置・工事・リサイクルの拡充



リサイクルを伴う大型家電の
配送・設置対応エリアを全国展開



東西2拠点物流体制

OMO戦略によるリアル店舗との相互送客の実現と東西2拠点物流体制を活かしたEC事業の収益力強化

ひと、まち、笑顔に。
Joshin

Joshin Reborn Action 2026 における「重点戦略」の進捗

リフォーム事業領域拡張

2026年度上期実績

- リフォームを含む工事全般を統括する部署を設置
- オンラインによる提案・施工リードタイム短縮
- Joshin店舗での共同イベント開催
- 大規模リフォーム実施のお客さまに向けた家電購入提案（特典付きご優待券お渡し）





2026年度下期以降

2026年度計画
- 家電量販店由来の「パックリフォーム領域」に加えて専門性の高い「オーダーリフォーム」にも進出すべくジョーシンリフォーム近畿との事業連携の早期推進

2026年度計画
（ジョーシンリフォーム近畿含む）
- リフォーム事業売上高
  2025年度：165億円
  ⇒ 2026年度：190億円

中長期戦略の柱

設備交換中心
パックリフォーム
エアコン・給湯器・キッチン・トイレなど

対応領域を拡大

空間提案型
オーダーリフォーム
断熱対応・高齢者対応・省エネ・クリーンエネルギー対応など

拡大を支える基盤

- 営業×施工の連携体制
- 施工能力の平準化 技術力向上
- オンライン活用
- M&Aによるシナジー創出

JT-2028 経営計画（～2028年度）

- リフォーム事業売上高：200億円規模への着実な成長（ジョーシンリフォーム近畿含む）

- 関西エリアにおけるオーダーリフォーム事業展開地域の早期拡張を強力に推進
- ジョーシンリフォーム近畿の事業領域拡張（京都府・奈良県以外への進出）
- 外部企業との積極的な協業・提携・M&Aの推進
- Joshin店舗内、自社ECサイトにおけるリフォーム受注体制の整備強化



パックリフォームからオーダーリフォーム領域への進出
（ジョーシンリフォーム近畿とのシナジーによる事業領域拡張）

ひと、まち、笑顔に。

Joshin

見通しに関する注意事項

① 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する内容は、本資料作成時点における当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

② 本資料には監査を受けていない概算値を含むため、数値が変更になる可能性があります。

― お問い合わせ ―

株式会社Joshin 経営企画部　IR推進室
本社所在地：大阪市浪速区日本橋西一丁目6番5号
TEL: 06-6631-1122
URL：https://www.joshin.co.jp/